



全力を尽くした集大成の夏！

【7月9日(木) 壮行会 部長会長挨拶 女子バスケットボール部長】

今日は、このような機会を与えていただきありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うように練習ができず、上高井大会を始め、北信大会、県大会など、目標にしていた舞台がなくなってしまいました。

でも、この状況の中であっても、練習ができています。顧問の先生や、保護者の方々がいてくださるからこそできているのだと思います。だから、自分たちのプレーで感謝を伝えられるように、精一杯、全力を尽くして頑張ってきます。応援、ありがとうございました。



【8月3日(月) 墨坂中学校ホームページ 「校長室から」】



この土日に、交流大会の後半が各会場で行われました。日曜日には本部長の役割がなかったため、いくつかの会場を回って応援してきました。

それぞれの会場では保護者会の皆さんによる「新型コロナウイルス感染症予防対応」が工夫され、的確に行われていました。名簿チェックは勿論のこと、非接触型体温計による検温、動線やソーシャルディスタンスの指示、消毒や換気等々、確実に行っていただき感謝であります。

生徒たちからは、この大会が開催されることへの感謝やこれまでの部活動で培ってきた様々なことを、この時、この一瞬に注ぎながらプレーしている様子が伝わってきました。

特に3年生の選手たちが一生懸命に、そして清々しくボールを追っている姿に触れて、心に迫ってくるものがありました。

結果はそれぞれであったわけですが、こうした状況の下、部活動を通して培ってきたものは生徒たちのこれからの人生の大きな糧になることを願わずにはられません。

今朝、昇降口で生徒たちを迎えていたら、ある部活動の3年生がこぞって私の所に来て、感謝の気持ちを伝えてくれました。それぞれの眼はきりっと見開き、真っ直ぐにこちらを見つめ、やりきることができた成就感が漂っていました。「本当はあなた達の力が北信大会等どの程度通用するか試してみたかったよね？」と問うたら、ある生徒は「にこっ」と笑顔を浮かべ、頭を下げてその場を後にしていました。

バトミントンの奥原選手の言葉を贈ります。「今までやってきたことは決して無駄ではないし、これから先絶対にいきてくる とうか...いかせるような人生を送って欲しい。いつかの未来でこの想いを見返してやろう！」





2学期に向けて有意義な夏休みを



1学期末の学習の進捗状況について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業のため、学校教育活動に大きな変更を余儀なくされた1学期でしたが、生徒の皆さん、各ご家庭の皆様にご協力いただき、登校日1・2年生56日、3年生58日の1学期を無事に終えることができました。ありがとうございました。

年度当初に予定していた授業日数は73日でしたので、3週間分ほど授業日数が足りていませんが、週の日課を変更して水曜日を6時間授業にしたり、教科の時間を優先したりしてきましたので、現段階では、教科の時間数と学習進度については、ほぼ例年に遜色ないところまで回復しました。ただし、中止や規模縮小をせざるを得なかった学校行事や総合的な学習の時間については、例年通りという状況ではありません。2学期以降も、1学期と同様に「学習保障」の観点を大事に考え、状況を鑑みながら対応して参ります。

夏休みの学習について

本校では、生徒の皆さんの頑張りや先生方の授業改善の努力により、学習進度については大幅な遅れは生じていません。しかしながら、例年よりも短時間で、ほぼ同じ学習内容で進みましましたので、この夏休みを使ってしっかり復習したり、2学期に向けての予習をしておいてほしいと思います。

5月26日(火)から登校が始まり、先生方から「臨時休業中に予習・復習をしていた生徒は、授業において学習内容の定着がよい」「予習・復習をしていた生徒は、自信をもって学習を進めている」などの声が聞かれました。予習・復習に時間をかける余裕がある時期は、学習を深める貴重な機会となり、その後の学習にもよい影響が出やすいものです。10日間の休みですが、計画的に過ごせるようにしてください。

また、夏休み中の学習で課題に感じたことや質問については、2学期に先生方に遠慮せず質問してください。大歓迎です。

夏休み中の生活について

生徒と保護者の皆さんで、生徒指導係から出ている「夏休みを迎えるにあたって」を今一度、お読みいただき、安全で規則正しい生活を送れるようにしていただきたく思います。

1学期に学校活動を再開し今日まで継続できたのは、学校に関わる皆さん、一人ひとりが、しっかりと新型コロナウイルス対策を行ってくださったおかげです。しかし、本校においても、いつ危機的状況に陥ってもおかしくない状況が続いています。また、感染者数増加の報道が続く中、ここに来て国や県から更新された指針が次々と示されている状況もあります。

7月末に須高医師会長の鶴田先生が、次のメッセージを出されました。

「全国への感染拡大が続く中、須高地域でも残念ながらついには患者発生がみられました。しかしながら、犯人探しやデマを流すことなく、この感染症が無事終息した際に、その品位ある行動が称賛されるような須坂市であって欲しいと思います。この未曾有の危機を乗り越えるため一致協力して、せめて人災の被害者を出さないよう自制し、コロナ禍に打ち勝ちましょう。」

気の緩みやすい休みではありますが、新型コロナウイルス感染症拡大は全く治まっていません。正しく恐れて、適切な行動を続けていきましょう。休み中も、不要不急の外出は控え、お互いの命と健康を第一に考えた行動をお願いいたします。



いじめ防止について

現在、「いじめ」については、いじめ防止対策推進法で「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」と定義され、学校、教職員、保護者の責務についても明記され、**社会全体がいじめを広い定義で捉え、いじめに対して抜け落ちがなく防止していくこととなっています。**本校でも、墨坂中学校ホームページに掲載してあるいじめ防止等基本方針に則し、いじめが起きにくい学校・学級づくり、開かれた人間関係づくりを推し進めます。保護者の皆様にも、ご理解ご協力をいただきたいと思います。宜しく願いいたします。